

「おうちで透析」プロジェクト推進の一環として
日本透析医学会学術集会・総会においてワークショップを主宰

「HD クリニックでの PD 診療展開」 10月1日

医療情報提供サービスを運営する一般社団法人リンクア（所在地：東京都目黒区、代表理事：市川 匠、以下：リンクア）は、「おうちで透析」プロジェクト推進の一環として、同プロジェクトのメンバーが第29回日本透析医学会学術集会・総会において、ワークショップを主宰します。

■「おうちで透析」とは、患者と家族が「治療方法を選べる環境づくり」を構築するプロジェクト

「おうちで透析」は、自宅や職場、出張先、旅行先など「生活の場」で行うことのできる透析治療について、「腹膜透析」を選択肢の一つとして“選べる環境づくり”に取り組み、情報提供を行うプロジェクトです。<https://fukumakutouseki.com/>

当プロジェクト推進の一環として、次のとおり、第29回日本透析医学会学術集会・総会においてワークショップを主宰します。

<第29回日本透析医学会学術集会・総会><https://www.jsdt.or.jp/info/3970.html>

・内容：2023年10月1日（日）10:30-12:30 「HD クリニックでの PD 診療展開」

（医）明洋会 柴垣医院 樋口千恵子

■医療機関での「血液透析」97%、在宅の「腹膜透析」治療者数は全体のわずか3.0%

透析とは、「慢性腎臓病（CKD）」が進行した末期腎不全の段階から行われる腎代替療法です。透析治療には、「血液透析」と「腹膜透析」の2種類があります。

日本の透析患者総数は34万9,700人で、医療機関で行う「血液透析」が97%を占めています。一方、「腹膜透析」治療者数は1万501人と全体のわずか3.0%です（参考文献：2021年、日本透析医学会統計調査報告書）。

このような状況において、厚生労働省の2018年診療報酬改定により、適切な腎代替療法の推進が掲げられ、「腹膜透析」など様々な選択肢があると説明することを要件化されました。

「腹膜透析」は、患者の生活スタイルに合わせた治療法であり、自宅や会社などで、自身または介助者の支援を受けて行うことが可能です。通院回数は、「血液透析」の週2~3回と比べ、月1~2回と少ないうえ、残存腎機能を生かした治療法です。

「おうちで透析」では、在宅による「腹膜透析」を実施している病院リストを地域ごと掲載していますが、現在6施設にとどまっています。2025年をめどに、100施設へ「腹膜透析」療法の導入することを目指

します。これには全国の病院やクリニックに加えて、介護施設などと連携し、地域包括ケアシステムの構築を図るために、同療法の導入や普及を支援する施設の拡充に注力します。

「おうちで透析」は、今後、通院が難しい透析患者がますます増える社会を想定し「腹膜透析」関連の情報を中心に、腎臓病、透析、健康情報を提供します。ウェブサイトや公式動画チャンネル（ユーチューブ）にて定期的に情報を発信し、また、SNS を通じて質問コーナーや情報交流へも行っています。さらに、情報交流を活性化させ、医療提供者と患者間の「情報格差」を縮める役割を担います。

【おうちで透析運営メディア】

ウェブサイト : <https://fukumakutouseki.com/>
Youtube チャンネル : <https://www.youtube.com/channel/UCp8Ezf99zaKvj-Coq8OqhoA>
X (旧 Twitter) : https://twitter.com/ouchide_toseki
Facebook ページ : <https://www.facebook.com/fukumakutouseki/>

【一般社団法人リンクアについて】

会社名 : 一般社団法人リンクア <https://linqua.jp/>
本社所在地 : 東京都目黒区自由が丘 1-13-4 シャイン自由が丘ビル 4F
代表理事 : 市川 匠 (いちかわ・たくみ)
設立 : 2019 年 4 月
事業内容 : 医療情報提供サービス

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

担当 : 上田 メールアドレス : info@linqua.jp